



# 第51回 日本集中治療医学会学術集会 教育セミナー（ランチョン）3

日時  
2024年 **3**月 **14**日（木）  
**12:10**～**13:10**

会場

第3会場 ロイトン札幌 2F エンプレスホール

座長・Opening Remarks

## 松田 直之 先生

名古屋大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学分野

### 集中治療における病態生理学的アプローチの重要性

演者

## 中村 謙介 先生

横浜市立大学附属病院 集中治療部

### 生理学から考える敗血症性ショックの循環管理戦略

#### 教育セミナー参加方法

教育セミナー（ランチョン）のお弁当は事前申込制となります。  
当日券は配布致しませんが、お弁当や座席に余裕があればご入場いただけます。

#### 教育セミナー（ランチョン）事前申込期間：

2024年2月1日（木）～3月上旬予定 ※定員に達し次第終了

- ・参加登録時にご希望の教育セミナー（ランチョン）をご選択ください。
- ・ネームカードに申込済のセミナー名が印字されますので、入場時に提示してください。
- ・教育セミナー（ランチョン）の事前申込はセミナー開始後無効となります。



参加登録はこちらから

共催：第51回日本集中治療医学会学術集会／東レ株式会社／東レ・メディカル株式会社

血液浄化の  
気になる論文紹介中！  
東レ学会ポータルサイト



<https://www.blood-purification.toray/medical-personnel/society/240314.html>





## 集中治療における病態生理学的アプローチの重要性

名古屋大学大学院医学系研究科 救急・集中治療医学分野 松田 直之

### はじめに

医薬品・医療機器等の品質・有効性及び安全性の確保等に関する法律は、本邦における医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器及び再生医療等製品に関する運用を定めた法律である。2014年11月25日に薬事法等の一部を改正する法律(平成25年法律第84号)の施行により、従来の「薬事法」に代わり、上述の名称および略称「薬機法」に変更された。また、2020年9月1日からは「改正薬機法」として医薬品、医療機器等をより安全、迅速、効率的に医療現場にて使用できるように法律が整備された。一方、集中治療における薬剤や機器については、集中治療室における仕様として開発されたものが全てではなく、多くの薬剤などは適応外使用として、医学的根拠にかなうことを前提とし、各病院内での承認のもとで使用される。そして、多くの薬剤や機器は、使用したという事象ではなく、使用する目的を明確として、使用するタイミングが重要となる。その上で、薬機法に準じた集中治療のために、集中治療領域における多くの臨床研究が必要となる。本共催セミナーでは、以下の内容を紹介する。

### 講演

1. 集中治療に必要な病態生理学的視点、2. 集中治療入室の目的と治療導入のタイミング、3. 事例：ショック管理の病態生理学的アプローチ、4. 集中治療における病態生理学的視野拡大のための事項の整理。

### 結語

集中治療を的確かつ早く完了するためには、病名の診断と治療に加えて、病態の診断と緩和にコツがある。病態生理学的理解を深め、患者病態におけるアセスメントを充実させるコツの一部を共有したい。

## 生理学から考える敗血症性ショックの循環管理戦略

横浜市立大学附属病院 集中治療部 中村 謙介

ショックの蘇生戦略はEarly goal directed therapyに始まって一定の型を確立し、敗血症性ショックの救命率を大きく向上させたと言える。一方で、生理学に立ち戻れば循環は組織灌流と酸素運搬によって成り立ち、中でも組織灌流を直ちに立ち上げることが重要であると言える。そして静脈還流曲線や改訂スターリングの法則まで考えを巡らせれば、輸液に頼らない昇圧戦略がいかに重要かを理解することができる。このような循環の生理学に基づいた蘇生を検討する上で、急性血液浄化療法は腎代替を超えて救命に貢献する1つの治療選択肢となりうる。本講演では著書「循環とは何か？ 虜になる循環の生理学」に基づいたショックの循環管理戦略の考え方をお話しし、その戦略に加えるべき新たなtipsを自身の研究とともに紹介したい。